

甲佐町議会だより

第102号

平成14年10月31日

発行 甲佐町議会



清 流

9月定例会



心和やかに
(敬老会マジックショーから)

傍聴席から 今後も安心できる食品の提供を ⑧

大分県 山香町議会を研修 ⑧

一般質問は3人 あなたのかわりに町の考えを聞く ⑤⑦

そこが知りたい Q&A ④

乳幼児医療費 無料化の範囲を拡大 ②



の範囲を拡大

9月定例会

無料（子育て支援）

平成14年度 9月定例会は、9月13日に招集され18日までの6日間の日程で開催されました。今定例会では平成14年度の一般会計および特別会計補正予算の審議をはじめ、条例案件4件、町道の路線廃止・認定2件について審議し、平成13年度各会計決算の認定については特別委員会を設置し、付託することとした他は、原案どおり、すべての議案を可決しました。

なお一般質問には、3名の議員が登壇、町政全般にわたり質問しました。さらに議員発議に意見書を国の各関係方面へ提出しました。

一般会計予算に7821万円を補正

条例等

○乳幼児医療費助成に関する条例の一部改正

就学前の乳幼児全てを対象に、通院医療費の助成を行うため、条例の一部改正が全員一致で可決されました。

郡内で就学前の乳幼児全てを対象に、通院医療費の助成を行うのは、本町が初めてです。10月1日以後の通院医療費から適用されますが、今後の子育て支援としての効果が期待されます。

Q

乳幼児医療費助成の条例改正により今回、通院、入院を問わず、小学校就学前まで医療費が無料になる。このことは議会においても何回も取り上げられ、一歩進んだこととなるが、他町村の状況はどのような状況か？

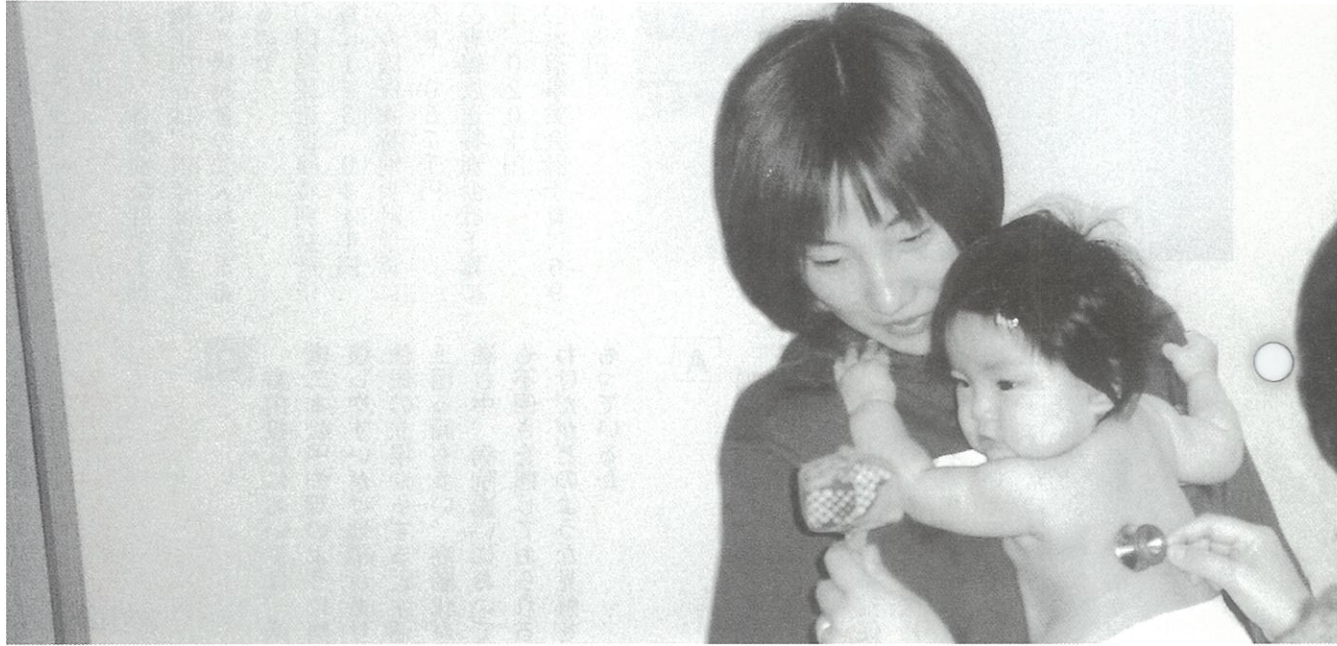
A

本年4月1日現在の資料によると小学6年生までの通院、入院の無料化が県内で1箇所、7歳未満までが1箇所、就学前までの入院無料が52市町村、通院のみが39市町村、5歳児までの入院、通院無料が7市町村、4歳児までの入院が1町村、通院は2町村、それから県の補助金対象となる4歳児未満児の入院費無料化が32町村、通院無料が44市町村といった結果になっている。郡内においては状況は3歳児までは通院費が無料となり、入院については就学前まで無料となっている。

4、7ヶ月児健診から

乳幼児医療費無料化

10月1日から入院・通院とも就学前まで



○国民健康保険条例の一部改正

国の医療制度改革に伴うもので、3歳未満の乳幼児の一部負担を2割に軽減する。また、老人医療の受給対象年齢の引上げや一部負担額などを変更するための条例の一部改正が賛成多数で可決されました。10月1日以後の医療費から適用されます。

○国民健康保険条例の一部改正

医療制度や地方税法の改正に伴うもので、国民健康保険税の所得割額を算定するための課税対象金額（所得）を個人住民税算定の所得金額との整合性をはかり、納税義務者間の税負担の公平性をはかるための条例の一部改正が賛成多数で可決されました。10月1日から施行されます。

○税条例の一部改正

法人税法の改正で連結納税制度が創設されたが、法人町民税及び法人事業税については、従来どおり単体法人を納税者とするための条例の一部改正を施行期日の関係で専決処分とした報告



老後の不安、吹きとばせ

Q

法人税法の改正で連結納税制度が創設され、本年8月1日から施行されたが本町では該当する事業所はあったのか

A

町内にはグループ企業は、3社ほどあるが出資比率で判断する場合町内での該当する企業はない。

補正予算

○一般会計予算

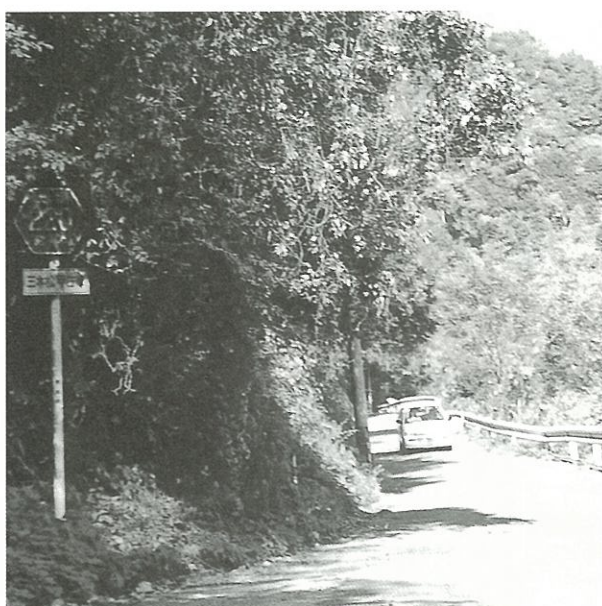
78,214千円の補正を賛成多数で可決しました。おもな内容は、次のとおりです。

- ①異動に伴う人件費の調整
- ②水道事業会計への出資金 690万円
- ③町道舗装工事等で1,210万円
- ④町道維持工事等で550万円
- ⑤林道山上幹線舗装工事に598万円

○土地改良事業補助で260万円

また、各特別会計の主な補正内容は、前年度決算に伴う繰越金の受入れによるもので

- 国民健康保険特別会計予算に123,044千円
- 介護保険特別会計予算に58,057千円
- 有線放送特別会計予算に1,020千円
- 水道事業会計予算に690万円



改良が待たれる県道三本松甲佐線

おもな歳出としては、老人保健拠出金、介護給付費準備基金への積立、過年度負担金の償還、有線放送電

そこが知りたい

Q&A

Q 宮内校区においては、県道三本松甲佐線のように崩壊しやすいがけ地帯があり住民の立場からすると生活上困る面も多い。高齢化が進む中、病院通いにおいても不便さを感じておられるわけだがどのような見解をもっているか。

A 県道三本松甲佐線の迂回路が無いと言うことだが、今、砥用町と両町で組織している三本松甲佐線整備促進期成会のなか沿線の区長と一緒に宇城、上益城両振興局にお願している。宮内地区は非常にけわしい地域でもあり、事業費はかさむという返事だが、粘り強く折衝していく。

話帳の追加作成、町道新設に伴う配水管敷設工事の設計・工事請負費などで全員一致で可決されました。

Q 竜野校区の大谷橋から城平橋にかけての春、町道の改良については、どのような考えをもっているのか。

A この路線については、耕地課で進めている県営の中山間総合整備事業で実施し、現在、測量を終えた段階である。できる限り早く事業に着手できるように要望していく。



道路舗装や危険箇所改良が待たれる町道城平橋大谷線

町道の路線廃止及び認定

○路線廃止

白旗増見鶴線

起点 白旗字古閑2269番地地先から
終点 白旗字元白旗第二1909番地地先間の443.7m

○路線認定

下豊内国道線

起点 豊内字東園から
終点 豊内字東園間の185m

白旗増見鶴線

起点 白旗字前畑から

終点 芝原字芝原第二間の1,616m

決算審査特別委員会を設置

平成13年度甲佐町一般会計や平成13年度甲佐町水道事業会計など7会計の決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、特別委員会へ付託されました。

決算審査特別委員会は奥名克美、本田昭一、佐藤良一、山内勲、高木英吉、佐藤義郎の6議員で構成されました。



一般質問と答弁

佐藤良一議員

今後の農業の見通しは

共販体制の強化と
立派な製品づくりを

佐藤議員

狂牛病問題、農業問題が表沙汰となり、農家にとって大変厳しい現実と直面しているが、今後の農業の見通しについてお伺いしたい。

町長

農作物の価格は、国外からの輸入に圧迫され、農家のみなさんの大変な努力にもかかわらず、低迷しています。本町の特産の花きも価格が不安定で、今後共販体制の強化とか、立派な製品づくりを考える必要があると思います。

ろくじ館の内容について説明を

利用者は12,000人
売上は、1日平均10万円

佐藤議員

ろくじ館は、4月1日の開館だったが、最近の利用状況はどうなっていますか。また、青空市場や料理室及

び会議室などどうなっていますか。

農政課長

4月から8月までの5ヶ月で利用者12,000人、加工部門では、一食450円の弁当を1日30から40食販売しています。青空市場では、水、土、日の朝7時から午後3時まで開いています。地産地消を推進するため品物は、全部甲佐町の農家で生産した品物のみを販売しています。売上は、1日平均で約10万円です。

認定農家の状況はどうか

69名で、5部会を組織

佐藤議員

認定農家は、70名程度と聞いていますが、状況はどうなっていますか。

農政課長

本町の認定農家数は、目標で100名とされていますが、現在69名で、酪農、花き、樹芸、たばこ、果樹の5部会を組織し、活動されています。また、研修などを行うため町から40万円、農協から10万円を助成して

います。

認定農家というのは、年間夫婦2人で2,000時間、所得目標700万円を

目指す農家となっています。

新規作物の確立に向けての考えは

軟弱野菜の導入を前提とした研修を実施

佐藤議員

スイートコーンの作付けが増えたようですが、どうでしょうか。

農政課長

乙女や白旗の下の地区で栽培されています。今年はスイートコーンが高く、反当50万円位ありました。しかし、現在農業をやっておられる方は、高齢者の方が多く、スイートコーンを20キロコンテナに入れると重くて大変です。

だから軽い軟弱野菜、例えば、年間8作、加温して11作できるハウレン草とかソラマメやインゲンマメなどを取り入れていくならどんなだろうかとということでまずは認定農家で研修を行っていききたいと考えています。

新規就農者4名の
主な作物はなにか。

農政課長

郡内の新規就農者数は12名で、そのうち甲佐町で4名の就農がありました。寒野と糸田の果樹農家、吉田と船津の花き農家です。1人あたり10万円の新規就農者奨励金が出ています。

地域用水環境整備事業の

本年度の実施計画は
甲南橋から守口屋までの
右岸の整備他

佐藤議員

地域用水環境整備事業の本年度の実施計画と今後についてお尋ねします。

耕地課長

平成14年度は、大井用水路の甲南橋から守口屋までの右岸と甲佐小学校の上から日和瀬橋付近までの右岸の整備、それと緑町の仁田子へ流れる水路の樋門などの整備等を実施予定としています。



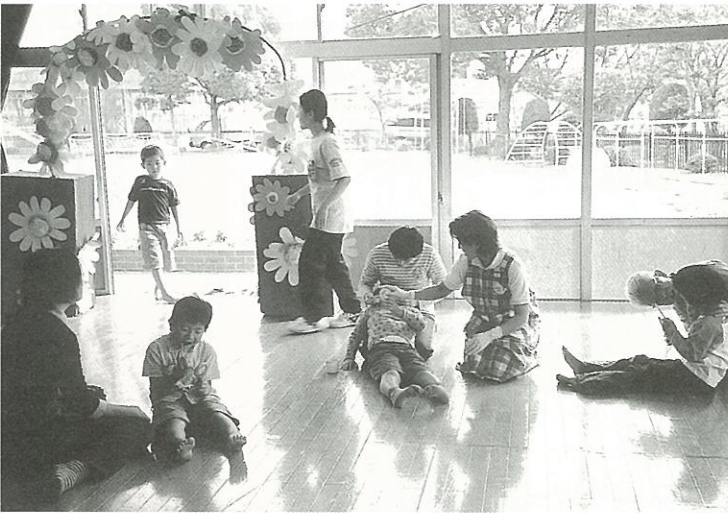
厳しい現実と直面している農業

佐藤義郎議員

入札結果の高止まりに対し、何らかの対策を取ったか。先進地等視察し、更に研究を

佐藤議員

平成13年度中に行われた入札の実態は、32件中、予定価格に対して99%での落札が9例、98%が6件、97%が5件と本当に競争入札になっているのかと疑問を持つ。町長も3月議会で改



期待される子育て支援

善する必要があるというふうに答えている。その後、何らかの対策をとられたか

町長

入札結果が高止まりしているというのに対し、競争を促す手法がなかなか浮かばなく、ただ今研究中だ。

佐藤議員

もう1年近くになる。何らかの成果を出すべきだ。

町長

今後、先進地等も視察しながら更に研究をしたい。

義務教育の間は医療費を無料に
意見を充分聞きながら計画書に反映させたい。

佐藤議員

全国的な傾向として少子・高齢社会が進んでいる。

本町でも切実な問題と

なって、子育て支援をもっと充実させる必要がある。

例えば、子どもの医療費無料化については、やっとな

年中生までできたが、これを中学生までと、少なくとも義務教育の間は医療費を

無料にする。また、第2子、第3子に対し、もっと一定

の助成を行う。また、今ほとんどの親が高いと感じて

いる保育料に対し、たとえば3〜4割助成をするとい

った対策の検討が必要ではないか。

町長

第3子以降の子には、現在祝い金を出しているが、

子育て支援については、今年エンゼルプランを策定す

るので、お母さん方の意見も充分聞きながら、その中

で検討したい。

公立学校施設の耐震対策はどうか
年次計画を立て、診断を行いたい。

佐藤議員

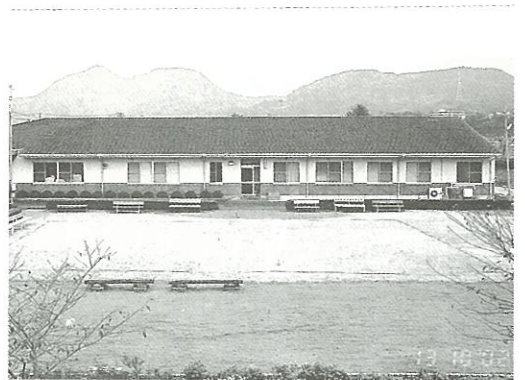
小・中学校の耐震対策についてお尋ねしたい。

教育長

文部科学省から昭和56年度までに建築された公立学校施設の耐震診断を、3年以内に実施するよう通知が

きている。

教育委員会でも、子どもの安全性の確保は勿論、地域の防災施設としても、耐震性を確保することは優先課題と認識している。



40周年記念を終えた老人ホーム

高齢者にも一定の制度助成を
事業計画の中で研究したい

佐藤議員

長寿社会において、高齢化対策を充実する必要があるのに、政府は、社会保障

関係予算を削りながら、医療費や保険料の値上げをする。

町は、一定の助成をする必要があると思うが、どのような対策を考えている

か。特に低所得者に減免措置など制度をつくる必要があるのではないか。

教育長

甲佐中学校、甲佐小学校、竜野小学校の教室、宮内小学校、白旗小学校の教室、給食センターなどである。

診断の結果、改修となれば莫大な予算がかかるので年

次計画を立て、実施したい。

また、国や県の対応は未定なので、緊急事業として責

任を持って補助事業の措置を講じるよう要求してい

たい。

多くなっていくので予防が

大事だ。低所得者に対して

計画のなかで研究していきたい。

北畑常博議員

プラスになる町村
合併を

町民の考えを充分聞き
ながら考えていきたい

北畑議員

嘉島町は合併の意思がないと聞くが、もし、御船町と甲佐町が合併した場合、市になるのか。また、甲佐町を身売りするのでなく、わが町に取り込むぞというプラスになる合併をするべきだと考えるが、町長の考えをお聞きしたい。

町長

町村合併については、当初4町村で進んできたが、益城町が脱退したので3町で進めてきた。

途中、嘉島町が単独でいくということでは白紙になっている。甲佐町の将来像をしっかりと踏まえて、町民の意見も充分聞きながら考えていかなければと思っている。

市になるには、平成16年の4月頃までに立ち上げないとできない。



乙女橋から瓜山方面を望む

北畑議員

合併するならば、甲佐町に生まれてよかったと思うようなことをすべきだ。例えば、人口増を図るためにも、働き手が増えるような企業誘致の努力をするべきではないか。

町長

雇用がなくては、人口も増えない。企業立地については、これからも努めたい。

大井手で鮎つりを
研究したい

北畑議員

日和瀬橋の改修工事や地域用水環境整備事業に合わせ、やな場から甲佐小学校間の大井手で鮎がつれる川づくりや子どもが自然に川に親しむような親水公園の活用を思うが、また、すでに地域用水環境整備事業で整備されたところの活用や今後の甲南橋付近の整備についても考えるべきではないかと思うが町長の考え

町長

は。今後、勉強や研究をさせていきたい。

乙女橋から御船の火葬場へ抜ける道路の新設は御船町と協議、調査したい。

北畑議員

以前、議会で乙女橋から御船の火葬場に抜ける道路の新設についてでいていたが、今、御船町でも機運があると思う。

それを利用して町長自ら県あたりとの交渉が重要と思うが。

町長

以前から話があるが、今後、御船町と協議し、調査したい。

北畑議員

国の河川環境整備事業で津志田や中甲橋あたりも事業されるが、合併前にそれなりの条件をつけながら物事を進めるべきだ。

町長

これも御船と協議していく。

中学校のグラウンドの整備をすべし。表土を耕したり、随時山砂を入れたらいい。

北畑議員

甲佐高校の裏の道が狭い。高校も手狭となっているので高校と一緒に県行政へ働きかけ、高校の環境整備に協力すべきだ。

また、甲佐中学校のグラウンドが固くて、運動する子どもが腰を痛めて困っている。育ち盛りの子どもの体を痛めて、問題とならないよう整備すべきではないか。

町長

ご指摘は、教育長と相談し、対応したい。

教育長

高校については、高校の校長に、議会でこのような話が出ていたので、県の教育委員会へ話をしていただろうと申し上げている。

中学校のグラウンドの件は、校長から報告を受けている。調査の結果、今年は雨が少なく固いので、表土を耕したり、随時、山砂を入れるなど計画している。



グラウンドを走る中学生



議会運営委員会研修風景

山香町議会を研修

8月28日から2日間の日程で議会運営委員会を中心に、大分県山香町の議会運営と庁舎建設、また大分県農業文化センター、第3セクター「ドリーム」など視察研修しました。

山香町は、国東半島の根元に位置した中山間地域で、人口8,992人、世帯数3,261戸の農林業を中心

心に発展してきた町です。町の面積が、143.7km²(本町の約2倍)と広く、7割を山林原野が占めるため、97地区の集落に6つの小学校と3つの中学校を抱えています。その他、温泉施設、レストラン、堆肥センターなど4つの第3セクターによる施設と町立の総合病院を持ち、医療と福祉

に力を入れている町です。議会の概要は、議員定数17人に対し現員16人で、3つの常任委員会と4つの特別委員会を抱えています。本会議の議会運営は、定例会の開会3日前に各常任委員の会を同時開催し、議案書に基づいて執行部から説明を受け、本会議へ委員長が報告しております。また、一般質問は、一般

傍聴席から一言

今後も、安心できる食品の提供を



麻生原 丸山 正

年4回発行される議会だよりを楽しみにしている一人です。この度は一人の町民として身近なことを述べさせていただきます。

私の住んでところは、国指定文化財である天然記念物「麻生原のきんもくせい」の在るところです。先日まで、このきんもくせいを見に来られる人たちが接待するため、地区の方々が手づくりの料理を持ち寄り、お茶くみと大忙しでした。

さて、私は酪農を営んでいます。昨年からBSEいわゆる狂牛病で大変でした。それに加え、乳製品不正事件や食品表示違反などにより牛肉価格が暴落し、我々酪農家は大変困ってしま

ました。私が、酪農を始めました頃、ある講演会で「牛乳は、神が与えた最高の食品である」という話を聞きました。今でもその言葉に支えられながらみなさんへ安心できるものを提供できるように日々頑張っているのに残念です。

このような時、町の配慮でBSE対策の助成を行っています。未熟ながら農協の青年部長を務めていますので、この場をお借りして申し訳ありませんが、今後とも町の基幹産業である農業の環境整備とより一層のご指導をお願い申し上げます。

最後になりましたが議会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

質問通告書の受付順で行い、制限時間はないが、同じ内容に関する質問は答弁の内容に限り3回までとさせていただきます。そのため一人あたりの平均質問時間は、40分位だそうです。(本町は、一人あたり1時間と時間制限を行っている。)

今後の議会運営に生かして生きたいと思っています。



もー 我慢ならん

編集後記

10月15日、20数年前に北朝鮮に拉致され、生存者されていた5名の方々が、祖国日本に帰ってこられた。今日時点では、拉致された時の状況やその人々の北朝鮮での生活、また、死亡したと伝えられている。しかしその人々の死に至った経緯は、本当に不透明なところばかりである。

小泉首相の訪問により突破口はできた。しかし、なぜ、もつと早く解決への努力がなされなかったのかと政治への不信はつる。信頼される政治とは、常に町政の動きをこと毎にお伝えすることが不可欠である。

わが町でも将来、町民から「町は、あの時このような事を施せばよかったのに」との思いを持たせないためにも町民の代弁者と執行部とのやり取りを、つぶさにお伝えしたい。

みなさんの傍聴を
お待ちしております。